

Tokyo Odissi Day

東京 オリッシー 日和

とうきょう
オリッシーびより

東インド古典舞踊オリッシー公演

遠い国じゃない 遠い時間じゃない
足鈴の音とともに 寺院彫刻たちが
いま動き出す



vol.1

2018年6月16日(土) EVENT INFO <https://www.facebook.com/events/779549072236222/>
開場 18:00 開演 18:30(終演 21:00 予定)

出演：野中ミキ/篠原英子/萩原裕実子/星野あかね/山崎春(SWASTIKA)/Ayako・赤石なみ・澤田ゆうこ(PADMA Odissi Dance)
会場：東長寺 本堂 (東京都新宿区四谷 4-34) 前売券：3,500円 当日券：4,000円 チャイ(インドミルクティー)とお茶菓子付き
協力：Kamala Kala Pitha Japan/SWASTIKA/ねぎし珈琲/VSSP Tokyo
ご予約・お問い合わせ：tokyoodissi@gmail.com TEL.070-1454-1333 主催：PADMA Odissi Dance

— 遠い国じゃない 遠い時間じゃない 足鈴の音とともに 寺院彫刻たちが いま動き出す —



野中ミキ
Miki Nonaka
写真：宇留野文子

1977年よりインド舞踊を京都市の舞踊研究所で学び始める。1990年より約25年間、東インド古典舞踊オディッシーを故グル・ラマニ・ランジャン・ジュナに師事。1992年秋より自主企画の公演を行う他、師匠の学校の日本支部としてイベントの出演や後進の指導にも務めている。オディッシーダンススタジオ カマラ・カラ・ピータ ジャパン代表。
さらに、インドの文化を広めるため、2013年より京都で活動している舞踊家や演奏家とともに「インドアーツサンガム京都」を設立。メイン事業「インド芸術祭」や様々なイベントの企画も行っている。
<https://odissi.exblog.jp/>



篠原英子
Eiko Shinohara

2006年にオリッシーと出会い、グル・ケルチャラン・モハパトラ・スタイルのオリッシーを安延佳珠子氏より学んだ後、2009年に単身インドに渡り、デバプラサッド・ダス・スタイルを継承する世界的に活躍するオリッシーダンサー、ラフル・アチャリヤ氏より本格的な直接指導を受ける。同氏の二度の来日公演を企画・共演。2014年以降は同氏の師である D・チャラン・ランビール氏に師事。International Nritya-Mani Award 2011, Debaprasad Samoroho Award 2016 受賞。日本とインドを行き来し舞台経験を重ねつつ、東京と新潟のクラスでは後進の育成にも力を注ぐ。「素足で大地にステップを踏むとき、ただすべてはつながっていると感じる。」
スワステイカ主宰 www.odissi-swastika.com

2004年から安延佳珠子氏主宰の Studio Odissi にて、東インド古典舞踊オリッシーを習い始め、国内で数々の舞台を経験。2009年からは、インド・オリッサ州にある、インド人間国宝、故 Guru Kelucharan Mohapatra 氏が設立した舞踊学校「Srjan」の Director である Guru Ratikant Mohapatra 氏、Guru Sujata Mohapatra 氏に師事。現地で群舞の舞台を経験。オリッシーの音楽が織りなす美しいメロディーと讃歌。静けさの中に力強さを秘めた舞。出会ってから愛してしまないオリッシーの本質を崩すことなく、師匠の教えを大切に踊りの魅力を伝えられるよう、心を込めて踊っている。



萩原裕実子
Yumiko Hagiwara

2002年より東インド古典舞踊オリッシーを習い始める。久保田幸代氏、安延佳珠子氏からインド古典舞踊を学び、2007年にインド・オリッサ州にある the late Guru Kelucharan Mohapatra が設立した学校「Srjan」にて初修行。2010年からは Guru Ratikant Mohapatra と Guru Sujata Mohapatra に師事している。インドのフェスティバルに多数出演。台湾、マレーシア、日本各地で数々の舞台を経験。ワークショップなども行う。東京にて PADMA Odissi Dance を主宰。後進の育成や公演の主催を行い、オリッシーの普及につとめる。太陽と月のように、力強さと優雅さをあわせ持つオリッシーを目指している。またその奥深い精神性を表現できる踊り手になれるよう、日々研鑽を続けている。 <http://padma-odissi.com/>



星野あかね
Akane Hoshino
photo by Kyoho Nishigaki

東京オリッシー日和

とうきょう
オリッシー
びより



山崎 春
Haru Yamazaki

役者や日本舞踊等、様々な活動を経験。2011年、ラフル・アチャリヤ氏のワークショップでオリッシーに出会い、同年、篠原英子氏に師事。swastikaのメンバーとして、数々の舞台に出演する。2017年、インドにてソロで出演。



Ayako

2011年よりオリッシーを星野あかねから学び、PADMA Odissi Dance のメンバーとして、ナステインディア、インド大使館イベント、神社での奉納舞、数々のホール公演やライブイベントにて舞台出演を経験、研鑽を重ねている。インド古典芸術の奥深さに惹かれ続けている。



赤石なみ
Nami Akaishi

2013年よりオリッシーを星野あかねから学び、PADMA Odissi Dance のメンバーとして、ナステインディア、インド大使館イベント、神社での奉納舞、数々のホール公演やライブイベントにて舞台出演を経験。オリッシーのステップの美しさや、ヒンドゥー世界の魅力を伝えられるダンサーを目指している。



澤田ゆうこ
Yuko Sawada

2016年よりオリッシーを星野あかねから学び、PADMA Odissi Dance のメンバーとして、インド大使館イベント、神社での奉納舞など舞台出演を経験。インド文化の哲学に惹かれ、オリッシーの魅力が伝えられるように、日々精進している。

〈About Odissi オリッシー(オディッシー)とは〉

繊細で伝統的な文化を持つ東インドのオリッサ州で、神様への捧げものとしてヒンドゥー教寺院で生まれ、継承されてきた踊りを発祥とする古典舞踊です。手足を四角く広げたチョココという形と、首・腰・ひざの三か所を曲げるトリバンギという形を基礎として動きが作られています。首や胴の動き、目や手の細かい身ぶり、豊かな感情表現を使って、インド神話を主とした物語などを踊りで紡いでいきます。強く複雑に大地を踏むステップと柔らかく曲線を描く上半身の動きが、叙情的な音楽と相まって独特の世界を創り出します。「動く彫刻」とも表現される印象的な美しさから、現在では舞台芸術としても世界中を魅了し続けています。

〈前売券のご予約方法〉

tokyoodissi@gmail.com (Mail) 070-1454-1333 (Mobile)
いずれかの方法で、①お名前 ②人数 ③ご連絡先をお知らせください。
メール予約の場合は、主催者からのご予約確認返信メールが受け取れるように設定をお願いいたします。
※ご予約のみで満席になった場合、当日券は出ませんのでご了承ください。

東京・四ツ谷 曹洞宗 萬亀山 東長寺 本堂

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34

東京メトロ丸の内線「新宿御苑前駅」より徒歩7分、
「四谷三丁目駅」より徒歩8分
都営新宿線「曙橋駅」より徒歩8分

- お子様連れでのご入場は可能です。大人のひざの上で鑑賞できる場合は、お席は無料となります。お席を必要とされる場合は、チケットをお求めください。
- 当日はご来場順にお好きなお席をお選びいただけます。やむをえない事情で椅子席をご希望の場合や、お子様連れなどで入り口付近のお席をご希望の場合は、ご予約時にお申し出ください。
- 会場はお寺の本堂となります。本堂内での飲食、お帽子の着用はお断り申し上げます。また、肌が極端に出ているお召し物はご遠慮いただくか、羽織るものをお持ちいただけますようお願い申し上げます。(いずれも、やむをえない事情がある場合を除きます。)
- 本堂は冷房が効きすぎる場合がございますので、羽織るものをご持参いただくことをおすすめいたします。

みなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

